



平成27年 5月14日 NO・23

〒311-1114 水戸市塩崎町1016
 TEL029-269-2116 FAX029-269-3160
 Mail tunezumi-j@magokoro.ed.jp
 【ホームページで、カラー版が見られます】

自ら輝き、その輝きで友をも照らす『常中魂』

連休終盤の5月6日に、海浜公園で「The World of Brass 2015 in ひたちなか」が開催され、本校の吹奏楽部も参加した。本校吹奏楽部の部員数は必ずしも多くは無いが、その演奏は見事で、観客の皆様方から大きな声援を受けていた。

ちなみに、先頭で常澄中のプラカードを掲げているのは、生徒ではなく顧問の藤枝先生。生徒に混じっても全く違和感が無い。顧問と生徒の絆の強さが感じられた。



このような見事な演奏ができるのは、実は理由がある。左の写真を見ていただきたい。

これは、5月1日、練習終了後に藤枝先生の話聞く生徒たちの姿だ。

藤枝「あなたたちは、ここまでよく努力し、技能を高めてきました。しかし、これから先、上手になるのは、実は難しくなります。今後も伸びていくためには、他者・仲間の様子をよく見る、見る目を持つことが必要になってきます。」

生徒たち「ハイ！」

藤枝「学校生活でもそうでしょう。自分の周りには友達がいるの。相手がいる。自分はどうだけど相手は、友達はどうかと、必ず見ること、考えること。音楽では、それがすごく大事だからね。相手のこと、仲間のことを意識することで、いい演奏・いい演技ができるようになります。自分だけではまだまだ。人のことにまで、気を配れるようになることで伸びます。今が一番つらい時です、ある程度のところまでグッと伸びました。ここで、耐えられるか、努力を続けられるかで、これから違ってきます。」

生徒たち「ハイ！」

藤枝先生の熱い語り、それを「目と耳と心」で聴く生徒の姿。先生の語りに対して、「ここで相づちを打つべきだな」と思ったところで、「ハイ」と応える生徒たちの絶妙なタイミング。

教師と生徒の間の一体感、信頼感が感じられる。なるほど、これなら良い演奏をするだろうとこの時点で感じられた。

吹奏楽部は、部長・副部長が学校だより「常中魂」を通して、部員募集を呼びかけたところ、7名の新入部員を迎えることになったという。目標の10名以上には届いていない。しかし、逆境にめげず今後も前進し続けてくれるだろうと期待している。

常中の朝の教室は、朝読書から始まる。全員が意識して静寂をつくらせている。そして、本の世界に集中する。そして、他者の静寂を奪わないよう心がける。

写真の三年生の姿は、その心が輝いて見える。

朝読書の雰囲気は、霧の朝の静けさ、長く引き継ぎたい。

朝読書で心を整える